

サンタカタリーナ（ＳＣ）州政府主催１２０周年開幕式典 梅田大使挨拶  
７月６日（月）１０：３０（於：サンタカタリーナ州政庁玄関ホール）

コロンボＳＣ州知事並びにご参列の皆様、こんにちは。

本日は日ブラジル外交関係樹立１２０周年及び青森県ＳＣ州姉妹関係３５周年を記念し、素晴らしい式典を開催いただき、日本政府を代表してコロンボ州知事、州政府関係者の皆様、ＳＣ州日系団体連合会（ＦＡＮＳＣ）をはじめとする日系団体の皆様、本日御出席いただいた皆様に感謝申し上げます。

この機会に以下の３点を述べさせていただきます。

１点目は、ＳＣ州に在住する日系人に関してです。ブラジルには約１９０万人の日系人がおられ、当地ＳＣ州にはおよそ１万４千人の日系人の方々がおられます。ＳＣ州において日系人の方々には農業分野、特にリンゴ、なし等の生産に加え、ワイン等の生産においても活躍されています。また農業だけでなく行政、ビジネス、医療など幅広い分野でＳＣ州、ひいてはブラジルの発展に大きく貢献されています。このことは日本大使である私にとって、大きな誇りです。また３、４日に行われた第一回フロリアノポリス七夕祭りは、州知事をはじめＳＣ州政府の御協力で盛大に開催されました。引き続き、大きな祭りに発展するよう関係者の皆様の御協力をお願いいたします。

２点目に、ＳＣ州と日本の関係についてです。ＳＣ州には日伯が外交関係を結ぶよりも１００年以上前の１８０３年に若宮丸の乗務員が当地に上陸しました。その後日本とＳＣ州の関係は、日本から正式な移民が入植してから農業分野を中心に関係が深まりました。現在、日本はＳＣ州から鶏肉、豚肉、リンゴ果汁等を輸入しています。日本の食糧安全保障にとってＳＣ州は非常に重要です。また、この式典後は知事との会談を予定しておりますが、今回は６名の日本企業家、ＪＩＣＡ代表にも参加いただいています。この機会にＳＣ州への投資、日本への輸出増に繋がり、日本とＳＣ州の経済関係が一層強化されることを期待しています。

３点目に、ＳＣ州と青森県は姉妹都市提携３５周年に関してです。ＳＣ州が伯最大のリンゴ生産州となる過程で、青森県と密接な関係を構築されたことを嬉しく思います。知事は本年中の訪日を検討されていると伺っていますが、ＳＣ州と日本の交流が一層深まるよう期待して、私の挨拶とさせていただきます。

（了）